

○文化財防火デーの由来

昭和24年（1949年）の1月26日、国宝の法隆寺金堂の壁画が火災により大きな被害を受けました。この日を忘れることなく、文化財を火災から守り後世に伝えていこうと制定されたのが、文化財防火デーです。

○今後のローテーション予定

R5年度：東漸寺→R6年度：龍禅寺→R7年度：白山神社→R8年度：長禅寺→R9年度：八坂神社→R10年度：本陣

○実施文化財概要

県指定文化財・市指定史跡「旧取手宿本陣染野家住宅」（平成8年1月25日県指定・昭和62年1月1日市指定）

旧取手宿本陣染野家住宅は、寛政7年（1795年）に建築されました。

江戸時代、参勤交代の制度により大名は江戸と国元の間を往復しましたが、その道中で宿泊や休息に利用した家为本陣と呼びました。染野家の当主は、代々取手宿の名主を勤めていましたが、貞享4年（1687年）に水戸徳川家から本陣に指定されたと伝えられています。そして水戸徳川家の歴代の藩主だけでなく、江戸と水戸の間を行き来する水戸藩士や、他の大名も染野家为本陣として、宿泊や休息に利用しました。

敷地内には、主屋（しゅおく）のほかに土蔵（どぞう）や表門（おもてもん）、徳川斉昭（なりあき）筆の歌碑なども残っており、江戸時代の雰囲気が残っています。

なお、昭和62年1月1日に本陣は市指定史跡となり、平成8年1月25日に主屋及び土蔵が県指定文化財に指定され、平成26年1月27日に表門が附指定されています。



本陣主屋